

経済活動を支え、魅力と利便性あふれるまちづくりを促進し、
ポストコロナを見据えた持続的な成長につながる取組み



経済活動を支える取組み
5億1,342万円

- PiO PARKの活用
- 区内中小企業の稼ぐ力創出支援
- ビジネスサポートサービスの充実

魅力あふれるまちづくり
9億8,384万4千円

- 文化施設における展示・運営の強化
- 大田区緑の基本計画
「グリーンプランおおた」の改定
- 拠点公園の整備(都市計画公園)

利便性あふれるまちづくり
29億3,106万6千円

- 蒲田駅周辺地区のまちづくり
- 大森駅周辺地区のまちづくり
- HANEDA GLOBAL WINGSの
まちづくり

3-1 経済活動を支える取組み、
魅力・利便性あふれるまちづくり

PiO PARK の活用

新規

重・み

予算額 4億2,168万1千円

副題：世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成します

ポイント

HANEDA×PiO（ハネダピオ）において、国内外大手企業・中堅企業、大学・研究機関、団体、起業家・スタートアップ企業など、多様な主体による交流、連携機会を創出し、日本の産業界のイノベーションを加速させる拠点づくりを進めます。

事業概要

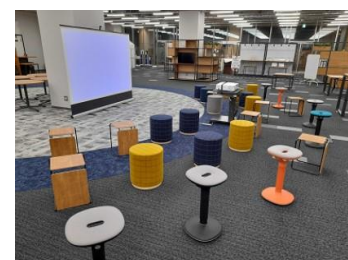
1 HANEDA×PiO を HUB としたモデル事業の実装

HANEDA×PiO スペース内の交流空間ゾーン「PiO PARK（ピオパーク）」の利用拡大及び同空間を核とした新産業創造・発信エコシステムの構築に向け、モデルとなる事業の実装に向けた取組み及び当該事業のプロモーションなどを実施します。



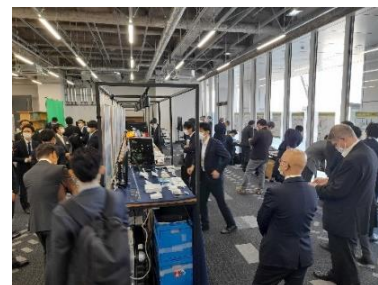
2 HANEDA×PiO の効果的な運営

地域への波及効果等の事業効果創出に向けて、HANEDA×PiO のテナントゾーン・PiO PARK 等の運営・整備を進めます。



3 PiO PARKの維持運営にかかわる整備の拡充

パートナー企業の紹介、経営に関するサポートなど大田区産業振興協会が長年培ってきた産業支援のノウハウを駆使し、個々の課題に応じた支援を提供します。また、様々な広報媒体や協会の強みであるネットワークを利用して、国内外に広くPiO PARKの周知を図り、利用の拡大を促進します。



羽田イノベーションシティ内・コリドーに面した展示スペースでは、区内企業の新しい技術や企業間の連携によって生みだされた製品・サービスを広くPRしていきます。

4 PiO PARKを活用した海外スタートアップの誘致

羽田空港直近というPiO PARKの立地利便性を活かすとともに、日本で創業しやすい環境を整えることにより、海外の有望なスタートアップ企業を海外関係機関との連携を通じて誘致します。

新製品・新技術の創出に繋がるような創業者支援を展開し、区内産業集積の強みを発揮したイノベーションの加速化を図ります。



配信イベント収録の様子



PiO PARK のロゴマーク

問合先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	臼井	電話 5744-1614 (産業交流担当)

3-2 経済活動を支える取組み、
魅力・利便性あふれるまちづくり

区内中小企業の稼ぐ力創出支援

重・み

予算額 7,800 万円

副題：中小企業の稼ぐ力向上に向けた支援を行います

ポイント

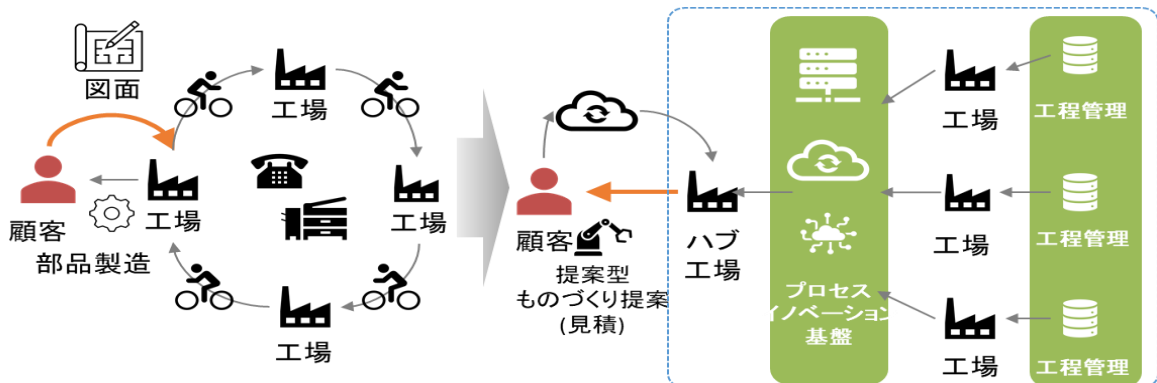
区内中小企業の持続可能な稼ぐ力の向上に向け、デジタル化や外部人材の活用に取り組んでいきます。

事業概要

1 IoT仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト

これまで区では、区内製造業の特性である仲間回しのデジタルの仕組みを構築してきました。

令和4年度以降は、これまでの「構築フェーズ」から「展開フェーズ」に移行して、大田区はもとより国内製造業の稼ぐ力の向上に向けて取組みを拡大していきます。



2 デジタル・データ活用による持続可能な稼ぐ力の創出支援

大田区町工場、商店街の地域課題を副業兼業人材と連携し、解決していきます。また、多数の優秀な副業兼業人材のネットワークを構築し、区内企業等の人材活用に向けてマッチングの仕組みづくりを進めていきます。

※副業兼業人材…地域活性化への情熱や専門性を有し、複数の業務に携わる人材



町工場のイメージ



商店街のイメージ

問合先

担当部課 産業経済部 産業振興課

課長 荒井 電話 6424-5977 (産業調整担当)

ビジネスサポートサービスの充実

新規

重・み

予算額 1,373万9千円

副題：人・デジタル両面からサービスを充実し、区内産業を活性化させます

ポイント

(公財)大田区産業振興協会では、ビジネスサポートサービスとして、これまで区内企業への専門家派遣による経営改善及び販路開拓等の相談や、経営状況の段階に応じた情報提供を通じて様々な課題に対応してきました。今回、産業プラザ1階に経営相談窓口を新設するとともに、「OTA デジタル×PiO (おおたデジタルピオ)」を活用することで一層支援体制を充実し、企業経営の高度化に繋がります。

事業概要

1 経営相談窓口の新設

産業プラザ1階国道側入口付近に、経営相談窓口【経営相談 café (仮称)】を新設します。

区内企業に対し、

- ① アドバイス、コンサルティング
- ② 区や産業振興協会事業の紹介
- ③ 都や国等の公的機関事業の紹介

を行います。相談内容に沿った支援をより一層的確かつスピーディーに提供し、区内外への事業者サービスの拡大を図ります。

2 OTA デジタル×PiO の活用

令和3年11月に構築した「OTA デジタル×PiO」は、区内中小企業が必要としている「人材」「知見」などを補うためのデジタル支援プラットフォームです。

この活用により、更に区内企業と区外の多様な関係者間のネットワークのデジタル化を図ります。

OTA デジタル×PiO 利用者のニーズに応じてきめ細かなサポートを行い、企業経営の高度化及び取引拡大に繋がります。

上記のほか、従来からのビジネスサポートの取組み（専門家派遣、認証・認可等取得支援、経営サポートセミナーの開催など）も引き続き行っていきます。



デジタルプラットフォーム「OTA デジタル×PiO」イメージ

問合先	担当部課	産業経済部	産業振興課
	課長	上記1	大木 電話 5744-1337 上記2 荒井 電話 6424-5977 (産業調整担当)

文化施設における展示・運営の強化

新規

重プ

予算額 2,869万3千円

副題：各文化施設におけるメモリアルイヤーを記念した事業を展開します

ポイント

令和4年度にメモリアルイヤーを迎える文化施設において、特別展の開催や運営の強化に取り組めます。

区内の身近な文化施設で、貴重な資料の展示等を通じて文化を楽しむ機会を提供します。

事業概要

1 勝海舟記念館の取組み

開館3周年記念特別展及び年3回の企画展を開催します。また、新たなミュージアムグッズ開発などのリピーター獲得に向けた取組みを強化します。

さらに、勝海舟生誕200年（令和5年3月）に向け、ガバメントクラウドファンディングの寄附を活用し「勝伯爵邸平面図」の修復など、令和5年度特別展の準備を進めます。



勝海舟記念館
(国登録有形文化財「旧清明文庫」)

2 特別展「大勾玉（だいまがたま）」の実施

田園調布にある宝萊山（ほうらいさん）古墳は来年度都の史跡指定70周年を迎えます。当古墳で発見された大変貴重なヒスイ勾玉や全国から集めた勾玉を含め、勾玉のルーツやその背景にある古代史像に迫ります。

会期予定：令和4年8月2日（火）～10月16日（日）



宝萊山古墳のヒスイ勾玉

3 龍子記念館 開館 60 年特別展の実施

日本画家・川端龍子が大田区の地に龍子記念館を開館し、60 年を迎えることを記念した特別展を開催します。龍子に大きな影響を与えた日本画壇の巨匠・横山大観とのドラマティックな交流を紹介するほか、横山大観、川合玉堂の作品を展示します。

会期予定：令和 5 年 2 月 11 日（土）

～ 3 月 12 日（日）



第 1 回「雪月花」展の様子（1952 年）
左から川合玉堂、川端龍子、横山大観

問合先	担当部課 観光・国際都市部 文化振興課
	課長 山本 電話 5744-1217

東京 2020 オリンピック・パラリンピック

レガシー事業の推進 **新規** **重プ**

予算額 4,300 万円

副題：東京 2020 大会のレガシーとして、
誰もが気軽にスポーツに取り組める環境を作ります

ポイント

東京 2020 大会のレガシーとして、誰もが気軽に取り組めるスポーツとして人気のあるランニングの普及を目指して、区内各所でランニング教室を開催します。

また、ブラジルの事前キャンプが行われたことをレガシーとして残していくため、ブラジル大使館と連携したビーチバレー大会等を開催します。

事業概要

1 ランニング環境の整備事業

ランニング教室を大森ふるさとの浜辺公園で開催します。

走り方等のアドバイスに加え、実際にコースを走ること
で、海の香りを感じられる大森ふるさとの浜辺公園の
ランニングコースを PR します。同教室は、蒲田・調布
地域でも開催し、推奨コースを提示することで、区民が身近な場所でランニング
に親しめる環境づくりを行い普及につなげます。



2 新スポーツ健康ゾーン活性化事業

大森東水辺スポーツ広場のビーチバレー場での事業を
拡充します。

当ビーチバレー場で、東京 2020 大会のブラジル事前
キャンプが行われたことから、これを記念した（仮称）ブ
ラジル大使杯や、オリンピックと触れ合いながら子ども
から大人まで誰もが楽しめるビーチバレー体験会を開催することで、東京 2020 大
会のレガシーを後世につなげます。



問合せ先

担当部課 観光・国際都市部 スポーツ推進課

課長 千葉 電話 5744-1635

大田区緑の基本計画「グリーンプランおおた」の改定

新規

重・み

予算額 2,399 万円

副題：「みどりあふれる未来CITYおおた」を目指し、みどり施策を推進します

ポイント

大田区緑の基本計画「グリーンプランおおた」は、平成 23 年 3 月に 20 か年の長期目標を定め、みどりのまちづくりを進めてきました。

平成 28 年 3 月の中間見直し以降の施策の進捗や、区を取り巻く社会動向の変化を的確に捉え、計画を改定します。

事業概要

本計画は、緑豊かで快適な都市を形成していくことを目指して、緑地の適正な保全や都市公園・緑地の整備及び緑化の推進など、みどりのまちづくり全般における将来のあるべき姿とその実現に向けた方策を示しています。

1 緑の基本計画グリーンプランおおたの改定

令和 4 年度改定予定の大田区緑の基本計画「グリーンプランおおた」では、施策の課題や進捗状況を把握するとともに、区を取り巻く社会動向を的確に捉え、グリーンインフラなどの新たな施策を取り入れることで、計画的な事業推進を図ります。



2 グリーンインフラ事業計画の策定

公園・緑地、河川、池等の区の自然環境への配慮を行いつつ、巧みに関わっていくことにより、脱炭素化や雨水対策及び生物多様性など、自然環境が有する機能を引き出し、持続可能で魅力あるまちづくりを進めます。

令和4年度は、グリーンインフラ事業計画を策定することで、既存施策の再構築や新たな施策の検討を進めます。そして、誰もが身近な場所で水や緑にふれあい、親しむことができる環境を整えます。



問合せ先	担当部課 まちづくり推進部 都市計画課
	課長 水野 電話 5744-1663 (まちづくり計画調整担当)

拠点公園の整備（都市計画公園）

重・み

予算額 4億952万5千円

副題：田園調布せせらぎ公園などの大規模公園の改良や整備を推進します

ポイント

「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づき、大規模公園や地域の拠点となる公園の新設・拡張整備に継続的に取り組めます。また、新たな魅力発掘や公園利活用推進に向けた整備を進めます。

事業概要

1 田園調布せせらぎ公園の整備

田園調布せせらぎ公園周辺では、令和3年1月に開館した田園調布せせらぎ館に続き、田園調布特別出張所及び地域包括支援センター田園調布が旧田園調布富士見会館に移転するなど、公共施設整備を進めています。

田園調布せせらぎ公園内に計画されている体育施設の整備に先立ち、多目的広場の移設や新たに開所する田園調布特別出張所下の富士見坂に接するエリアの整備に着手します。



田園調布せせらぎ公園改修全体計画図

2 平和島公園の整備

昨年度に引き続き、平和島公園キャンプ場のリニューアル整備を推進します。キャンプサイトの拡充に加え、既存のトイレや炊事棟などのリフォーム・建替えを行い、より快適に利用しやすい施設環境へ改良します。

3 大森東水辺スポーツ広場の整備

スポーツ・レクリエーション拠点のさらなる機能向上を目指し、ビーチバレー場や多目的スポーツ広場、フットサル場におけるナイター設備の設計に着手します。



大森東水辺スポーツ広場 ナイター設備設置対象区域 (イメージ)

問合せ先	担当部課 都市基盤整備部 公園課
	課長 中山 電話 6715-1823

3-8 経済活動を支える取組み、 魅力・利便性あふれるまちづくり

公園のリニューアル

重プ

予算額 4億8,314万1千円

副題：魅力あふれる地域に根ざした公園・緑地をつくります

ポイント

多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれる魅力ある公園づくりを行います。「子育てひろば公園づくり」、「いきいき健康公園づくり」など、公園の地域特性や区民ニーズを的確に捉え、地域に根ざした公園・緑地の整備を進めます。

事業概要

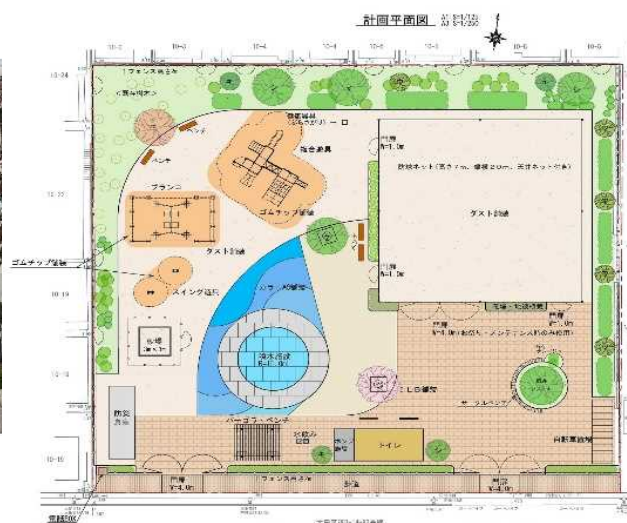
1 公園の魅力アップ

キャッチボール場や複合遊具などを整備し、魅力的な空間をつくります。

[六間堀緑地、本羽田第三公園] (設計・整備)



キャッチボール場 (イメージ)



公園の魅力アップ (イメージ)

2 公園の新設・拡張

既存公園の拡張整備により、安全性や防災機能の向上を図ります。

[平張第二児童公園ほか] (設計・整備)

3 施設の安全対策

多様な世代の人が安心・安全に公園を利用できるよう、施設の安全対策を推進します。

[蘇峰公園] (土留壁補強整備)

4 いきいき健康公園づくり

健康遊具の設置や公園を巡るウォーキングコースの設定など、既存公園を利活用し、健康増進を目的とする整備を推進します。

[くすのき公園など] (設計・整備)

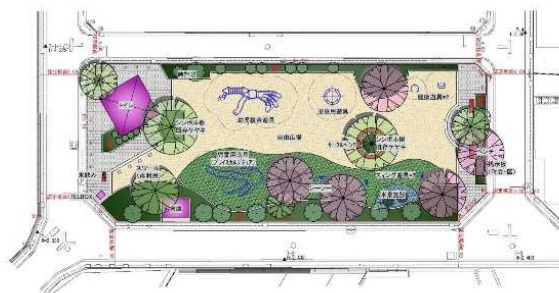
5 子育てひろば公園づくり

幼児用の複合遊具を複数導入するなど、子育て支援空間の機能充実や多世代の交流空間の創出、オープンスペースの確保を目的とし、既存公園を利活用した既存公園の再整備を推進します。

[京浜蒲田公園] (整備)



幼児用複合遊具 (イメージ)



子育てひろば公園づくり (イメージ)

6 防災船着場連絡通路の整備

東京港防災船着場整備計画及び大田区と民間開発事業者との協定に基づき整備される防災船着場に合わせて、おおたキャナルサイドウォーク公園において、連絡通路やサイン整備を進めます。

[おおたキャナルサイドウォーク公園] (整備)

問合先	担当部課	上記1～5・6 (公園内整備に関する事)	都市基盤整備部	公園課
		上記6 (計画及び協定に関する事)	まちづくり推進部	都市計画課
	課長	上記1～5・6 (公園内整備に関する事)	中山	電話 6715-1823
		上記6 (計画及び協定に関する事)	神保	電話 5744-1671 (公共交通・臨海部担当)

バスケットコート^{新規}の整備

(東京 2020 オリンピック・パラリンピックレガシー事業)

予算額 3,419 万 5 千円

副題：東京 2020 大会のレガシーを後世に残します

ポイント

東京 2020 大会を契機に区民のスポーツへの関心が高まりました。また、大田区をホームタウンとする東京羽田ヴィッキーズの本橋菜子選手が東京 2020 大会バスケットボール女子日本代表として、銀メダルの獲得に貢献されました。そのレガシーとして、日常的にスポーツに親しめる環境の整備を図るため、羽田地区にバスケットコートを早期に整備します。

事業概要

整備場所：あさひ海老取川公園（羽田旭町 11-1）

整備内容：バスケットコート（3 on 3 規模：（横）15m × （縦）11m）

利用料金：無料（予定）

[イメージ]



[参考]大田区立南二くすのき公園

問合せ先

担当部課 都市基盤整備部 地域基盤整備第二課
課長 大見 電話 5713-2005

大田区移動等円滑化促進計画“すいすい”プランの改定 重プ

予算額 1,242万8千円

副題：「移動しやすいみち、使いやすい施設でみたされる街 おおた」

を目指します

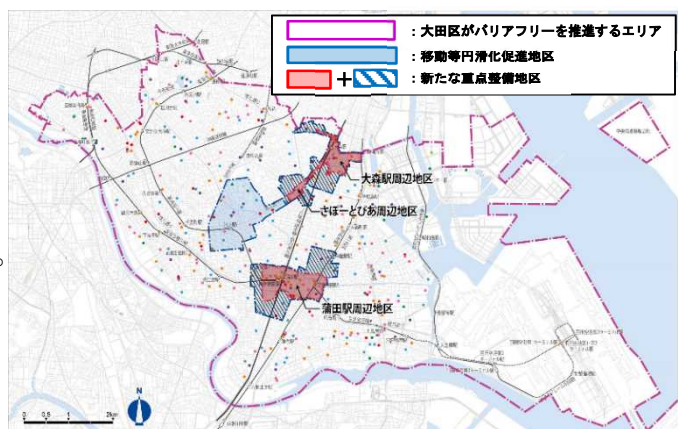
ポイント

大田区におけるバリアフリー基本構想である“すいすい”プランは、平成24年3月から蒲田駅や大森駅周辺地区及びさぽーとぴあ周辺地区を重点整備地区と定め、街なかの移動等円滑化を進めてきました。令和4年度の計画改定では、令和2年3月策定の大田区移動等円滑化促進方針及び国のバリアフリー法の改正内容を反映することで、移動等円滑化のさらなる促進を図ります。

事業概要

区では、だれもが円滑に移動できるやさしいまちづくりを目指して、移動等円滑化促進方針により、区全域を対象として、大田区がバリアフリーを推進するエリアを示し、移動等円滑化を促進しています。

令和4年度改定予定の“すいすい”プランでは、3地区を重点整備地区として、対象施設の新規追加や区域拡大を行うなど、ハード・ソフト両面でのバリアフリー整備の促進を図ります。



問合せ先

担当部課 まちづくり推進部 都市計画課

課長 水野 電話 5744-1663 (まちづくり計画調整担当)

蒲田駅周辺地区のまちづくり

重・み

予算額 8億1,322万1千円

副題：蒲田の持続的な発展に資する基盤施設の一体的整備を推進します

ポイント

区を中心拠点である蒲田駅周辺地区について、まちの将来像やまちづくりの基本方針を掲げる「蒲田駅周辺地区グランドデザイン」の実現を図るため、駅を中心とする都市基盤施設等を一体的に捉えた中長期整備の検討を進めます。

また、蒲田駅東口駅前広場や東口地下自転車駐車場の初動期整備を進めます。

事業概要

1 蒲田駅周辺地区の都市基盤施設整備(中長期)

駅前広場、東西自由通路、駅舎・駅ビルなど、駅を中心とした都市基盤施設等を一体的に捉えた整備について、学識経験者や鉄道事業者などで構成する研究会において検討を進め、各施設を整備する上での方向を示す「蒲田駅周辺地区基盤整備方針」を策定します。

また、当該方針を踏まえ、施設整備の具体化に向けた整備の手順や条件などを示す「蒲田駅周辺再編プロジェクト」の改定に向けた検討を開始します。

2 蒲田駅東口駅前広場の再生整備

駅前広場内地下自転車駐車場の工事着手に向け、支障となる地下埋設管の移設、既存施設等支障物の撤去工事を行います。



蒲田駅東口駅前広場整備イメージ

問合せ先

担当部課 上記1 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課

上記2 都市基盤整備部 建設工事課

課長 上記1 浦瀬 電話 5744-1351 (拠点整備第二担当)

上記2 武藤 電話 6436-8720

大森駅周辺地区のまちづくり

重・み

予算額 1億147万9千円

副題：区を中心拠点にふさわしい大森のまちづくりを推進します

ポイント

大森駅周辺地区では、都市計画決定された補助28号線（池上通り）を始めとする都市基盤施設整備や沿道まちづくりを推進します。また、東口駅前広場を含む中長期を見据えた再編整備に向けてさらなる検討を進めます。

事業概要

1 駅西側：都市基盤施設整備に係る事業認可取得準備と沿道まちづくり活動支援

令和4年1月に都市計画決定された補助28号線（池上通り）の拡幅と大森駅西口広場の整備について、事業認可取得に向けた準備を進めます。

また、地権者組織によるまちづくり活動を引き続き支援します。



大森駅西口周辺の都市基盤施設の整備イメージ図

2 駅東側：「居心地よく歩きたくなるまちなか」実現に向けた検討

大森駅東地区において、国等が推進する「居心地よく歩きたくなるまちなか」の実現に向け、官民の多様な人材が集う「エリアプラットフォーム」の立ち上げと、地域の目指すべき将来像「未来ビジョン」作成のための検討を進めます。

問合せ先

担当部課 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課

課長 柞木（ゆすのき） 電話 5744-1341（拠点整備第一担当）

3-13 経済活動を支える取組み、
魅力・利便性あふれるまちづくり

池上駅周辺地区のまちづくり

重・み

予算額 3,449万9千円

副題：歴史・文化・自然を大切にし、にぎわいあふれ、
区民や来街者が快適に過ごせる池上のまちを目指します

ポイント

池上駅周辺地区では、平成31年3月に策定した「池上地区まちづくりグランドデザイン」に基づき、区、地域住民、地区まちづくり協議会、事業者等が連携して、まちづくりに取り組みます。

また、池上本門寺の魅力を活かしたまちづくりの推進のために、駅周辺の交通環境整備及び本門寺参道の景観形成に向けた調査検討、無電柱化の推進を行います。

事業概要

1 池上駅周辺地区都市基盤施設整備の検討

池上駅周辺の交通環境整備のうち、池上駅交差点の安全性や機能性の向上に向け、池上本門寺旧参道を含めた五差路の交通改善の検討を行います。



池上駅交差点の現況

2 池上地区における景観整備のあり方検討

池上駅及び池上本門寺を中心とした門前町としての情緒を活かした「景観整備」に関する検討を行い、景観形成重点地区を指した課題の整理を行います。



景観整備のイメージ

3 無電柱化の推進

新たに令和4年度から区道主要第23号線（池上通り本門寺新参道交差点から呑川の霊山橋南側）の設計を行います。

問合先	担当部課	上記1・2	鉄道・都市づくり部	鉄道・都市づくり課
		上記3	都市基盤整備部	建設工事課
	課長	上記1・2	山田	電話 5744-1736（新空港線・沿線整備担当）
		上記3	武藤	電話 6436-8720

洗足池駅周辺地区のまちづくり

重・み

予算額 3億3,539万1千円

副題：洗足池の水、緑、歴史・文化とともに、

豊かに暮らしていけるまちづくりに取り組みます

ポイント

洗足池駅周辺地区では、令和2年3月に策定した「洗足池駅周辺地区まちづくり方針」を踏まえて、洗足池公園等の地域資源を活かしたまちづくりに取り組みます。また、東京都の指定名勝である洗足池公園について、令和3年6月に策定した「名勝洗足池公園保存活用計画」に基づき、適切な整備・運営を進めます。

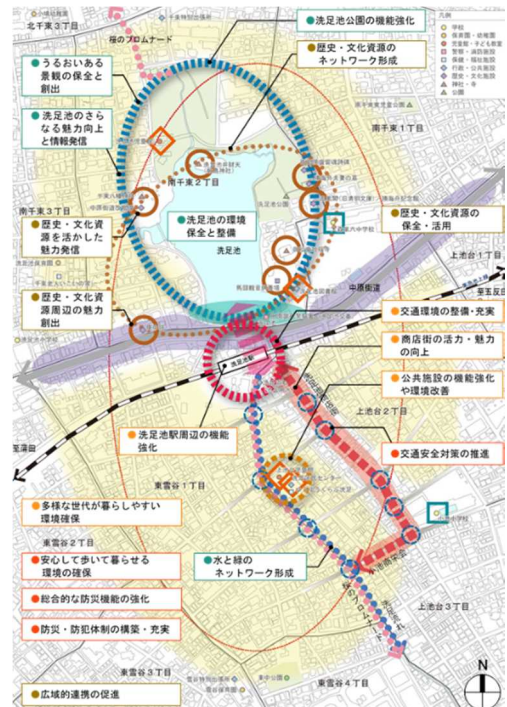
事業概要

1 洗足池駅周辺地区都市基盤施設整備の検討

「洗足池駅周辺地区まちづくり方針」で示したまちの将来像を実現するため、洗足池公園を含む洗足池駅周辺の魅力あるまちづくりに向けた都市基盤施設の将来イメージを検討します。

2 「(仮称) 名勝洗足池公園保存活用連絡協議会」の設置

学識経験者や地権者、自治会関係者などを構成員とした「(仮称) 名勝洗足池公園保存活用連絡協議会」を設置します。協議会では「名勝洗足池公園保存活用計画」に基づく施策や今後の整備方針等について検討します。



【地区まちづくりの取組みの方向性イメージ】

3 洗足池公園樹木調査の実施

名勝の景観を構成する要素として要である樹木について、専門家による健全度調査を実施します。その結果を受け、樹木を中心とした緑の更新、管理方針を検討します。



洗足池公園

4 洗足池公園拡張用地の購入

池の西側に隣接する約 580 m²の土地を購入します。将来的には既存の公園用地と合わせて一体的な整備を行う予定です。整備方針については、「(仮称) 名勝洗足池公園保存活用連絡協議会」で検討します。



購入予定地位置図



購入予定地

問合先	担当部課	上記 1	鉄道・都市づくり部	鉄道・都市づくり課
		上記 2～4	都市基盤整備部	公園課
	課長	上記 1	山田	電話 5744-1736 (新空港線・沿線整備担当)
		上記 2～4	中山	電話 6715-1823

下丸子駅周辺地区のまちづくり

重・み

予算額 2,609万9千円

副題：踏切対策と併せたまちづくりを推進します

ポイント

下丸子1号、2号踏切は、踏切道改良促進法に基づき抜本的な対策が必要な踏切に指定されました。これらの踏切対策と併せた下丸子駅周辺地区のまちづくりを推進します。

事業概要

1 下丸子駅周辺地区のまちづくりの検討

下丸子駅周辺地区のまちづくりについて検討するため、地域と「下丸子駅周辺地区のまちの将来を考える会（勉強会）」を開催し、まちの将来像とまちづくりの方向性を示した「下丸子駅周辺地区のまちづくり構想」の策定を目指します。



下丸子駅周辺地区のまちの将来を考える会（勉強会）及びまち歩きの様子

2 下丸子1号、2号踏切の抜本的な対策

法指定を受けた下丸子1号、2号踏切の対策方法について、鉄道事業者と連携して調査・検討を行います。

問合せ先	担当部課	鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課
	課長	山田 電話 5744-1736（新空港線・沿線整備担当）

新空港線の整備主体設立及び関連事業

重・み

予算額 11億8,574万8千円

副題：新空港線の早期整備に向けて着実に取り組んでいきます

ポイント

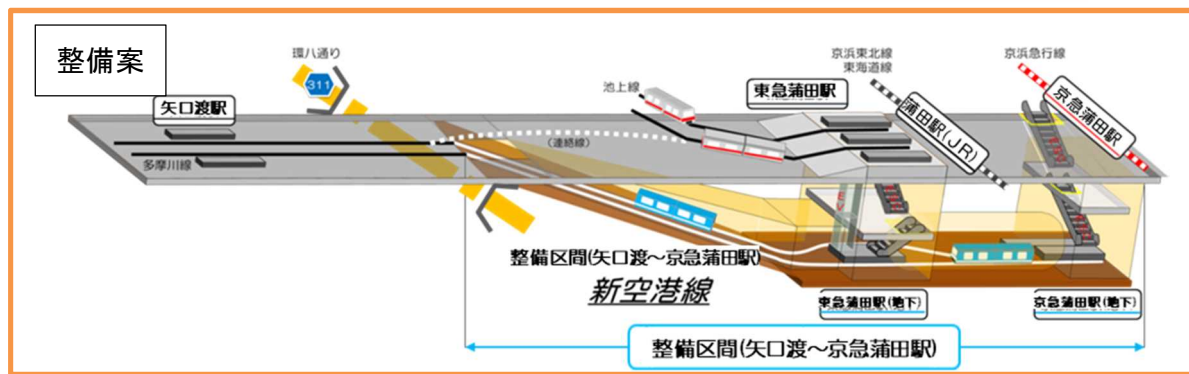
新空港線は、都市鉄道等利便増進法に基づき営業主体（上：鉄道事業者）と整備主体（下：第三セクター）に分ける上下分離方式を想定しています。この整備主体となる第三セクターを設立するとともに、事業を円滑に進めるための財源確保として、引き続き基金の積立を行います。また、新空港線の事業内容を周知するための広報・啓発活動の取組みを強化します。

事業概要

1 新空港線の整備主体設立に向けた取組み

新空港線事業は、国の交通政策審議会答申第198号において「進めるべき」とされた6路線の1つです。

現在、関係者合意に向けて鋭意協議を進めており、合意形成後は速やかに事業に着手できるよう整備主体となる第三セクターを設立します。



2 新空港線の広報・啓発活動

新空港線の事業計画や進捗状況などについて区民一人ひとりの理解を更に深めていただけるよう、分かりやすい動画を活用した説明や、区内の各種イベント等において周知活動を行うなど、広報・啓発活動の取組みを強化します。



啓発活動の様子（大蒲田祭でのPRブース出展）

3 新空港線整備資金積立基金

新空港線の整備資金として、令和4年度も引き続き10億円の積立を行います。

問合先	担当部課 鉄道・都市づくり部 鉄道・都市づくり課
	課長 山田 電話 5744-1736（新空港線・沿線整備担当）

HANEDA GLOBAL WINGS のまちづくり

重・み

予算額 3億9,593万3千円

副題：世界と地域をつなぐ「新産業創造・発信拠点」を形成します

ポイント

HANEDA GLOBAL WINGS（羽田空港跡地）が先端産業等の発信による区内波及効果を創出し、多様な人々が来訪するにぎわいのある拠点となるよう、まちづくりを進めます。

羽田イノベーションシティでは、引き続き、公民連携のもと世界と地域をつなぐゲートウェイとして、国内外のヒト・モノ・情報の交流を活発化させ、新たなビジネスやイノベーションを創造する「新産業創造・発信拠点」の形成を目指します。

事業概要

区のものづくりの技術をはじめ、先端産業、優れた日本文化などを発信する「新産業創造・発信拠点」の形成とともに、HANEDA GLOBAL WINGS 全体の有機的連携によりまちの魅力向上を図っていきます。

1 拠点形成に向けた取組の推進

令和2年に開業した羽田イノベーションシティについては、令和5年夏以降の全施設開業に向けた整備を進めるとともに、事業成果等の分析を通じ、公民連携による区内波及の創出に繋げていきます。

また、地域課題解決に向けたスマートシティの構築についても推進していきます。

※「HANEDA×PiO」の取組み内容及び予算額については、P.78「3-1 PiO PARK の活用」に掲載しています。

2 基盤施設の整備推進

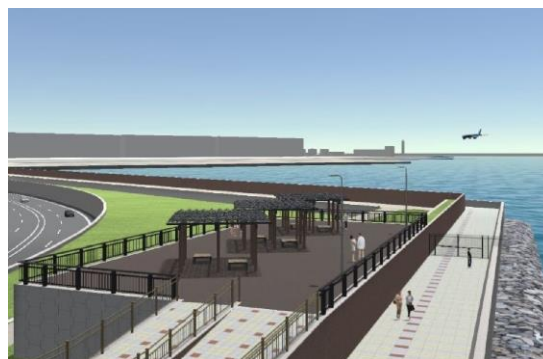
羽田空港跡地第1ゾーンにおいては、UR都市機構による都市計画道路整備や都市計画公園予定地造成などを進めます。また、第2ゾーンにおいては、ソラムナード羽田緑地を多摩川河口部へ拡張整備するための実施設計を行います。

3 都市計画公園予定地などの土地活用事業の推進

都市計画公園の基本計画策定とともに、公民連携手法を基本とした整備・運営に向けた取組みを推進します。併せて HANEDA GLOBAL WINGS の水辺に隣接した空間などを活用した、憩いと賑わいの創出に向けた取組みを進めます。



スマートシティ構築に向けた取組み
公道での自動運転バス実証実験
(天空橋駅～第3ターミナル)



ソラムナード羽田緑地の拡張整備イメージ
(河口部)

問合先	担当部課	空港まちづくり本部	空港まちづくり課	
	課長	上記1	鈴木	電話 5744-1537 (事業調整担当)
		上記1	中村	電話 5744-1648
		上記2・3	立花	電話 5744-1646 (空港基盤担当)
	副参事	上記2	中山	電話 5744-1668 (工事調整担当)

大田区コミュニティサイクル事業

重プ

予算額 2,626万8千円

副題：利便性の高いまちに向けて、コミュニティサイクルの活用を進めます

ポイント

コミュニティサイクルとは、一定の地域内に設置されたサイクルポート（駐輪場）であれば、どこでも自転車を借りる・返却することができるシステムです。

大田区では、さらなる適正な利用環境の整備のため、新たに自転車を増車したうえで、官民一体となった取組みとして事業を推進します。

事業概要

1 大田区コミュニティサイクルの活用推進

大田区では、これまで㈱ドコモ・バイクシェアと協定を締結し、事業主体は区、運営主体は（株）ドコモ・バイクシェアとして事業を展開してきました。

今後は、現在までの利用状況やポート数などを踏まえ、新たに自転車を300台増車し、さらなる適正な利用環境を整備します。



2 広域連携について

（株）ドコモ・バイクシェアと協定関係にある都内11区（令和3年12月現在）での相互乗り入れは可能であり、大田区、千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、江東区、品川区、目黒区、渋谷区、中野区内であれば、同一の会員情報でどのサイクルポートでも自転車の利用及び返却ができます。

今後も、他区との連携を進め、利便性の向上を図っていきます。

問合先	担当部課 都市基盤整備部 都市基盤管理課
	課長 五ノ井 電話 5744-1722（都市基盤計画調整担当）